



先週、友人の山荘に招かれました。北軽井沢の浅間牧場の傍にあります。この辺りは標高1000m以上ですから、最高の避暑地といえるでしょう。浅間牧場には標高1343mの天丸山があり、そこから眺める浅間山の眺めは素晴らしいものです。遠くの山々も望めます。牧場は起伏がなだらかで広々としています。

散策路があり、山野草があちこちから顔を見せてくれます。ここを友人とふたりで散策しました。多くの家族連れがピクニックに来ていました。友人はピンク色のチダケサシを何本も摘みました。

牧場だけに牛がいるはずですが、見当たりませんでした。しばらく歩いていくと、大きな屋根のあるアズマヤがあり、真ん中に水場のようなものが見えました。その屋根の下に牛たちが寄り集まっていました。看板があり、「牛は暑さに弱いため、夕方から明け方の涼しい時間に草をたくさん食べて、昼間の暑い時は木陰等に隠れて嘔みなおしをします。これを反芻といいます」とありました。木陰の代わりに大屋根があったのです。その群れの中に小牛が1頭いました。「ボクちゃん、こっちへおいで、モ〜ウ、モ〜ウ」と声をかけると、子牛が私たちの方へやって来ました。動物でも子どもはやはり好奇心が強く、素直に声に従うのですね。なんて可愛いのでしょうか。大人は誰一人振り向きもせず反芻に余念がありませんでした。ここの牛はここの草と水だけで成長していて、乳はとても美味しいとのこと。私は牛乳ダメ。



浅間牧場の北に浅間大滝(左)があり、そこにも行ってみました。前日の雨のために水量が多く、橋げたに迫る勢いでした。150m下の下流にも魚止めの滝(右)



がありました。ここの橋は増水で見えませんでした。観光客も来ず、涼しげな水音だけです。

広々としたキャベツ畑、トウモロコシ畑、花豆畑がありました。軽井沢の野菜は特別美味しく、甘くて、毎日でも食べずにはいられません。牧草地も広がっていて、刈った牧草のロールも見えます。通る人もほとんどおらず、静かに風が渡るだけです。



その近所に「絹糸の湯」という温泉がありました。別荘に住む人たちの楽しい出湯のようでした。口に含むと微かに塩けがします。湯は硫黄分があるのでしょうか。それよりも「アブにご用心」という注意書きにはびっくり！ 蠅叩きを持って露天風呂に入ったのは初めてでした。自然の空気にたっぷり浸って、なんともものんびりと避暑地を楽しんだ日々でした。